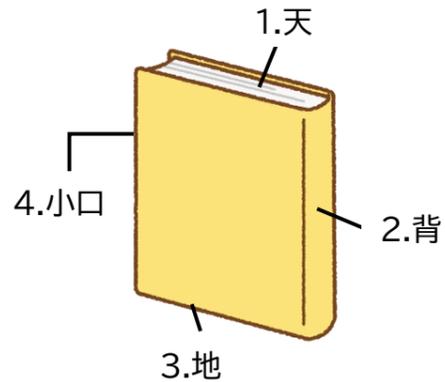




# ふくもっちゃんの部屋 ~本の豆知識~

ふくもっちゃんが教える本の豆知識！ 今回は本の各部名称についてご紹介します。



### 【各部名称と説明】

- 1.天(てん)…本文の上側
- 2.背(せ)…本文が綴じられている外側の部分
- 3.地(ち)…本文の下側
- 4.小口(こぐち)…本文の前側

詳しく知りたい方は、下記参考文献をご覧ください。



本を形作る各部分にも名前があったとは…。

ここで紹介したものはほんの一部。まだまだ他にもたくさんの名称がありますよ！

◎参考文献：『いちばんわかる手製本レッスン』/スタジオアタッククリエイティブ(022-イチバ)

## ~朗読会「ことのはの時間」を開催します~

図書館職員による、大人のための朗読会です。

日時 令和5年12月16日(土)午後2時30分~3時  
 場所 コラッセふくしま3階 302会議室  
 定員 15名(先着順)※事前申し込み・参加費は不要です

どうぞお気軽にご参加ください！

2023年11月1日発行

編集：福島市西口ライブラリー  
 〒960-8053  
 福島市三河南町1-20  
 Tel.024-525-4023  
 発行：福島市立図書館  
 〒960-8018  
 福島市松木町1-1  
 Tel.024-531-6551

《図書館ホームページ》



### 図書館カレンダー 11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

11月23日(木・祝)西口ライブラリー臨時休館

### 図書館カレンダー 12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

印は休館日



福島市西口ライブラリー広報

# 西口ライブ発信

2023年  
11・12月号

毎月24日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう！

## 新着本案内



### 『「小さな商い」のはじめ方』

三宅 哲之 監修  
 メイツユニバーサルコンテンツ  
 (335-チイサ)

小規模で好きなものを売りたい、個人のニーズに合わせた商いを始めたい、そんな人におすすめの入門書。起業する上で必要な心構えや、気になるお金のこと、実際に成功した人の例などを取り上げ、わかりやすく解説します。



### 『宗教が変えた世界史』

祝田 秀全 監修 かみゆ歴史編集部 編 朝日新聞出版 編著/朝日新聞出版(162-シユウ)  
 イスラム教の分裂に発展し、中東の治安悪化を招いたムハンマド後継者争いなど、世界史に影響を及ぼした宗教にまつわる出来事について図説します。基礎知識のほか、関連する世界遺産などを紹介するコラムも満載です。



### 『暮らしを楽しむ四季の大和言葉』

車 浮代 監修  
 神宮館(810-クラシ)  
 大和言葉とは、日本で生まれた固有の言葉のことです。本書では「春めく」や「星涼し」、「氷結ぶ」など、季節ごとに使われる言葉を色鮮やかなイラストとともに紹介。繊細で美しい大和言葉の世界へ誘います。



### 『天文現象のきほん』

塚田 健 著  
 誠文堂新光社(440-ツカダ)

日の出・日の入りといった身近なものから、月の光によってできる虹”月虹”など珍しいものまで、天文現象のしくみや楽しみ方を案内します。肉眼で見える現象も多数あります。今夜は空を見上げてみませんか。



### 『関東大震災文豪たちの証言』

石井 正己 編  
 中央公論新社(P210.6-カント)

関東大震災では多くの作家が被災した。被災生活を事細かに綴った泉鏡花、「命が大事」としつつ燃えた原稿を惜しむ与謝野晶子。彼らは未曾有の震災をどうとらえ、読者に何を訴えかけるのか。

災害と向き合うきっかけとなる1冊。

# 新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

Z世代のアメリカ 三牧 聖子 著/NHK出版(302-ミマキ)	机の上の動物園 椎名 誠 著/産業編集センター(914.6-シイナ)
公務員の「お仕事」と「正体」がよ〜くわかる本 秋山 謙一郎 著/秀和システム(317-アキヤ)	こぼれ桜 梶 よう子 著/角川春樹事務所(F-カジヨ)
くらべてわかる岩石 西本 昌司 文 中村 英史 写真/山と溪谷社(458-ニシモ)	存在のすべてを 塩田 武士 著/朝日新聞出版(F-シオタ)
大腸を切った人のための毎日おいしいレシピ 200 塩澤 学・藤井 理恵薫 監修/Gakken(494-ダイチ)	虎と十字架 平谷 美樹 著/実業之日本社(F-ヒラヤ)
エネルギー危機と原発回帰 水野 倫之・山崎 淑行 著/NHK出版(501-ミズノ)	新古事記 村田 喜代子 著/講談社(F-ムラタ)
正しく知る・賢く選ぶ美容成分大全 岡部 美代治 監修/ナツメ社(576-タダシ)	アンデッドガール・マダーファルス 4 青崎 有吾 著/講談社(PF-アオサー-4)
左利きさんのためのはじめてのかぎ針編み 佐野 純子 著/日東書院本社(594-サノジ)	雨の中で踊れ 佐藤 愛子ほか 著/文藝春秋(PF-アメノ)
山下惣一 百姓の遺言 山下 惣一 著/家の光協会(610-ヤマシ)	藤原道長王者の月 篠 綾子 著/PHP研究所(PF-シノア)
藤井聡太がやさしく教える将棋・攻めの基本 藤井 聡太 監修 将棋書籍編集部 編/日本将棋連盟(796-フジイ)	捕り違い 芝村 涼也 著/双葉社(PF-シバム)
なぜ、おかしの名前はパピプペポが多いのか? 川原 繁人 著/ディスカヴァー・トゥエンティワン(801-カワハ)	福島県の三十三観音 小泉 明正 著/歴史春秋出版(K186-コイズ)

## 作家といぬ

志賀直哉は動物好きで鳩や梟、猿などを飼っていました。中でも犬が大好きで、常に二〜三匹いたそうです。また、人懐こい性格よりも普段は落ち着いていて本当に喜んだ時にだけ、それを表現する犬が好きだと、随筆「畜犬に就いて」で語っています。他にも随筆にはお気に入りだった犬たちが度々登場しました。

また、こんなエピソードも残されています。飼っていた「クマ」という犬がいなくなつた時、たまたまバスの中からその姿を見かけた直哉はバスを急停車させ、追いかけて捕まえたそうです。どれほど犬たちを大切にしていたかわかってきますね。

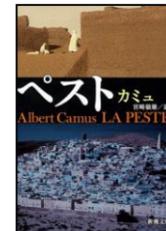
参考文献：『作家の犬 [1]』コロナ・ブックス編集部 編 /平凡社 (910.2-サツカ)

『志賀直哉の動物随想』志賀 直也 著/新講社 (914.6-シガナ)

ライブラリアンの

振り返りたい!

## 展示★名作案内 話題になったあの1冊! ~今なら読めます!~



### 『ペスト』

カミュ 著 宮崎 嶺雄 訳  
新潮社(P953-カミュ)

異変は鼠の大量死から始まった。アルジェリアのオラン市で発生したペストは市民の心身を蝕んでいく。伝染病という不条理によってあぶり出される貧困、不正、暴力。そんな絶望的な状況でも団結し、助け合う民衆の姿を描いた長編小説です。

ドキュメンタリータッチで意外と読みやすい!



### 『一切なりゆき』

樹木 希林 著  
文藝春秋(778-キキキ)

世の中は楽しむのではなく面白がる。物より感性にお金をかける。がんという病気は貴重…。数々の名言を残した名女優が語る人生とは。75歳で逝去するまで、全身のがんをものともせず生き抜いた彼女の生き様が感じられる1冊です。

人生観を変える言葉と出会えるかも?

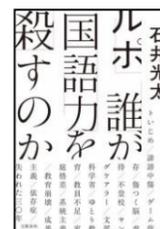


### 『JK、インドで常識ぶっ壊される』

熊谷 はるか 著 河出書房新社(292-クマガ)

中学三年生の夏、父親の転勤についていった先はインド!? 命がけでランニングをしたり、とあるルートから牛肉を手に入れたり…。突然インドで暮らすことになった著者が、日々感じたことを等身大の言葉で綴ります。

「第16回出版甲子園」でグランプリを受賞しました。



### 『ルポ誰が国語力を殺すのか』

石井 光太 著  
文藝春秋(372-イシイ)

文章の誤読やディスコミュニケーションなど、昨今教育現場では子供の国語力低下が問題視されている。筆者は教員や研究者らに取材を重ね、実態や背景、国語力の回復・育成への取り組みを探っていく。そこから見えてきた今後の展望とは?

「ごんぎつね」の読み方で話題になりました。



### 『聞く技術聞いてもらう技術』

東畑 開人 著  
筑摩書房(S361-トウハ)

相手が言ったことを素直に受け取る「聞く」技術。また聞くためには、自分のことを「聞いてもらう」技術も必要です。本書では、これら二つの技術の関係性と重要性を説きながら、実際に会話で使えるワードを紹介します。

会話に困った時の強い味方です。